



2026年1月14日

各 位

会 社 名 日本光電工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長執行役員  
Chief Executive Officer 萩野 博一  
(コード番号 6849 東証プライム)  
問合せ先 上席執行役員  
経営戦略統括部長 泉田 文男  
(TEL. 03 - 5996 - 8003)

## ドゥウェル株式会社の株式取得に関するお知らせ

日本光電は、本日開催の取締役会において、ドゥウェル株式会社（以下「ドゥウェル社」）の株式を取得し、当社の連結子会社とすることを決議しましたので、お知らせいたします。

また、当社は、ドゥウェル社の株式を保有する同社代表取締役 進藤 義宏氏（以下「進藤氏」）と新たな資本構成（当社 90.3%：進藤氏 9.7%）でのドゥウェル社の事業運営および今後の株式取得等に関する株主間契約を進藤氏と締結する予定です。

### 1. 株式取得の理由

当社は、2030年に向けた長期ビジョン「BEACON 2030」において、「グローバルな医療課題の解決で、人と医療のより良い未来を創造することを目指しています。2030年に向けた価値共創の羅針盤で「新たな価値創造～医療現場のデータから価値を生み出す～」ことを掲げ、情報から価値を生むためのデータ統合プラットフォームの構築とアルゴリズム開発に取り組んでいます。また、長年に亘り、周術期や検査室向けの業務支援システムを開発・販売し、日本市場において高い評価とシェアを獲得しています。

ドゥウェル社は、1996年の設立以来、医療現場に深く根差し、医師や看護師など医療従事者を支援するITシステムの開発・販売を行っています。これらの取り組みにより、先進的なITシステムを運用する日本の手術室をサポートし、高い評価を得ています。

この度、ドゥウェル社のITシステム製品と当社のソリューション事業（ITS+DHS）※には高い親和性があり、両社の強みを融合することが、医療現場における新たな価値創造につながることから、株式取得の合意に至りました。

当社とドゥウェル社は、医療現場におけるデータ活用の高度化と業務効率化に資するITソリューションの提供により、医療の質および医療経済性の向上に貢献していきます。両社が長年培ってきた独自技術と知見に最先端の技術を融合することで、次世代の周術期ソリューションを創出し、持続的な企業価値の向上および医療課題と社会課題の解決を目指します。

※ ITS: ITソリューション。 DHS: デジタルヘルスソリューション。

### 2. 株主間契約の概要

当社と進藤氏が締結予定の株主間契約では、ドゥウェル社の将来の経営体制について定めるほか、進藤氏にプットオプション（進藤氏が保有する株式を日本光電に売却できる権利）、日本光電にコールオプション（進藤氏の株式を買い取る権利）を設定する予定です。本オプションは、一定の条件下で行使可能であり、行使時の株式取得価額や手続きを定めます。進藤氏には、引き続きドゥウェル社の経営に関与していただく予定です。将来の経営体制の変更について柔軟な選択肢を確保し、両者協力のもと、持続的な成長と企業価値の向上を目指します。

### 3. 子会社の概要

(1) 名 称	ドゥウェル株式会社
(2) 所 在 地	北海道札幌市
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 進藤 義宏
(4) 事 業 内 容	医療情報システム製品の開発・販売
(5) 資 本 金	1,980 万円
(6) 設 立 年 月 日	1996年5月2日

※ 本件は任意開示であり、財務諸表や取得価額等につきましては、当事者間の守秘義務に基づき詳細の開示を控えさせていただきます。なお、取得価額につきましては、第三者機関による適切なデューデリジェンスを実施し、価格の妥当性を検証するための十分な手続きを実施しています。

### 4. 日程

(1) 取締役会決議日	2026年1月14日
(2) 契約締結日	2026年1月14日
(3) 株式取得実行日	2026年2月27日（予定）

※ 株式取得の実行は、株式譲渡契約に定める前提条件が満たされることを条件としています。

### 5. 当社業績に与える影響

本件が2026年3月期の連結業績に与える影響は軽微です。

以 上